

2013 年経済政策の大方針

田中 修

はじめに

12月4日、党中央政治局会議が開催され、2013年の経済政策が分析・検討された。これは、中央経済工作会議の直前に開催される定例のものである。以下、その概要を紹介する。

1. 現状認識

今年に入り、世界経済の回復が明白に鈍化し、国内経済の下振れ圧力が増大する峻厳な情勢に対し、党中央・国务院の正確な指導の下、各地方・各部門は科学的発展を主題とし、経済発展方式の転換加速を主線とすることを堅持し、安定の中で前進を求めるという政策の総基調に基づき、経済情勢の発展・変化に応じて、マクロ・コントロールを強化・改善し、安定成長・構造調整・改革の取組み・民生の優遇に力を入れ、**わが国の経済は安定に向かい、積極的要素が更に増大しており**¹、年間の経済社会の発展任務は比較的良好に達成できよう。

わが国はなお大いに力を発揮できる戦略的チャンスのある時期にあり、来年の経済社会の発展は、多くの有利な条件と積極的要素を備えている。同時に、**経済発展が直面する困難は依然かなり多く、各種の試練を低評価してはならない**。全党・全国は、憂患意識と緊迫感を適切に増強し、困難と試練を十分に推し量り、各方面の政策をしっかりと実施しなければならない。

2. 2013年の経済政策の基本的考え方

来年は、第18回党大会の精神を深く貫徹実施する最初の年であり、第12次5ヵ年計画の実施のうえで、これまでの業績を引き継ぎ新たな業績を導き出すカギとなる1年であり、小康社会の全面的実現のために堅実な基礎を打ち固める重要な1年であり、経済政策をしっかりと行うことの意義は十分重大である。

第18回党大会の精神を深く学習し、全面的に貫徹実施し、鄧小平理論・「3つの代表」重要思想・科学的発展観を導きとすることを堅持し、主題・主線をめぐり、**経済成長の質と効率の向上を中心**として、安定の中で前進を求め、開拓刷新を行い、しっかりとしたスタートを切り、改革開放を更に深化させ、イノベーションによる駆動を更に強化しなければならない。マクロ・コントロールを強化・改善し、内需を積極的に拡大し、経済構造の戦略的調整を強化し、民生の保障・改善に力を入れ、経済発展の内生的活力と動力を増強し、物価総水準の基本的安定を維持し、経済の持続的で健全な発展と社会の調和のとれた安定を実現しなければならない。

¹ ゴチックは筆者。

3. 具体的政策

(1) **マクロ経済政策の連続性・安定性を維持**しなければならない

的確性・有効性の向上に力を入れ²、適時適度に事前調整・微調整を進め、政策の協調的組合せを強化しなければならない。

(2) **内需拡大**に力を入れなければならない

牽引力の強い、消費の新たな成長スポットを早急に育成し、投資の安定的な伸びと構造の最適化を促進し、エネルギー多消費・高汚染・生産能力過剰業種の盲目的拡張を引き続き厳格に抑制しなければならない。

(3) いささかも手を緩めることなく、**農業生産**をしっかりと行わなければならない

支援政策を実施・整備し、農業への科学技術投入を増やし、ニュータイプの農業生産経営モデルの発展を奨励し、農地水利・防災減災能力の建設を強化しなければならない。

(4) **産業の転換・グレードアップ**を加速しなければならない

構造調整に対する自主的なイノベーションの牽引作用を発揮させ、産業目標が明確な国家重大科学技術プロジェクトを企業が率先して実施することを支援しなければならない。生産能力過剰業種の合併再編、優位性のある企業の支援・劣後した企業の淘汰を推進し、中小企業の発展を支援し、生産関連サービス業を発展させ、生態建設を強化しなければならない。

(5) 積極かつ穏当に**都市化**を推進しなければならない

都市の総合受容能力を增強し、土地の節約・集約・利用の水準を高め、農業からの移転人口の市民化を秩序立てて推進しなければならない。

(6) **地域発展の総体戦略**を深く実施しなければならない

集中してつながっている特殊困難地区の発展推進を加速し、海洋経済を発展させなければならない。

(7) **対外開放水準**を不断に引き上げなければならない

対外貿易構造を最適化し、輸出政策を整備・安定化し、輸入を積極的に増やし、チャンスをしっかり掴んで企業の海外進出を推進し、内陸・縁辺地域の対外開放を支援しなければならない。

(8) **物価総水準の基本的安定**を維持しなければならない³

重要商品市場の需給均衡を促進し、流通コストを更に引き下げ、市場価格と費用徴収の秩序を規範化しなければならない。

(9) **重点分野の改革**をしっかりと推進しなければならない

営業税を増値税に改めるテスト地域と業種範囲を拡大し、資源性製品の健全な価格形成

² 従来の「柔軟性」「展望性（先見性）」といった表現が姿を消し、連続性・安定性が重視されている。

³ 物価安定の政策順位はかなり後退した。

メカニズムを整備しなければならない。医薬・衛生体制改革を深化させ、国有経済・農村の改革を推進し、科学技術・教育・文化・行政許認可等の分野の改革をしっかりと行わなければならない。

(10) 民生の保障・改善に力を入れなければならない

都市・農村の健全な公共就業サービス体系を整備し、社会保障の統一的企画のレベル・保障水準を着実に引き上げ、教育・衛生・文化等の社会事業を発展させなければならない。不動産市場コントロールと住宅保障政策を強化し、社会サービス・管理を強化し、社会の調和のとれた安定を擁護しなければならない。

4. 6大シグナル

新華網北京電 2012年12月4日は、政治局会議の議論から、2013年の経済政策の6大シグナルとこれに対するエコノミストのコメントを紹介している。

(1) マクロ経済政策の連続性・安定性の維持

社会科学院 劉樹成学部委員：「中国経済の安定化・反転上昇の基礎はなお強化が必要であり、世界経済の環境は依然として複雑で変化に富んでいる。したがって、マクロ経済政策の連続性・安定性を維持することにより、中国経済の平穏で持続的・健全な発展を維持しなければならない」。

國務院発展研究センター・マクロ経済部 張立群研究員：「現在マクロ・コントロールの程度は比較的妥当であり、成長率も比較的適切である。世界経済の不確定性は強く、適時適度に事前調整・微調整を進めることにもまだ余地が残っている」。

(2) 内需拡大では消費・投資を同時に進める

社会科学院 汪同三学部委員：「内需拡大は消費を重点とすべきだが、現状では投資も軽視できない。現在世界経済の回復は力が乏しく、中国は更に内需拡大を通じて不利な影響を克服する必要があり、投資・消費のどちらもおろそかにはできない」。

張立群：「これまで自動車・不動産の消費に対する牽引力が強かったが、現在この2方面はいずれも問題に遭遇しており、新たな消費の成長スポットが必要である。投資分野では、投資を安定させると同時に、構造の最適化に注意し、民間投資の活力を奮い立たせることを重視し、落后した生産能力の淘汰を強化しなければならない、成長の安定のために再び盲目的な生産能力拡大を行ってはならない」。

(3) 産業目標の明確な国家重大科学技術プロジェクトを企業が率先して実施することを支援する

張立群：「自主的なイノベーションによる産業構造の転換・グレードアップの推進という提起の仕方はすでに久しい。しかし今回は、産業目標の明確な国家重大科学技術プロジェクトを企業が率先して実施することを支援するという新しい考え方が、非常に明確に示されている」。

汪同三：「自主的なイノベーションの重点は企業にある。企業のみが真に新技術と市場の

需要を結びつけることができるのだ。自主的なイノベーションは国家・企業の 2 つの熱意が必要であり、これによりイノベーション戦略を活気づかせることができ、根本から産業のグレードアップを推進できるのである。科学技術プロジェクトを企業に傾斜させるだけでなく、相応な財政・金融の支援を与えなければならない。

(4) 農業からの移転人口の市民化を秩序立てて推進する

アジア開発銀行中国代表処 庄健高級エコノミスト：「中国の都市化率はまだ経済発展水準に適応した高さに達しておらず、潜在力が巨大である。大量の農民が現在都市に移転しており、彼らを真に市民とすることは、産業・消費のグレードアップに極めて重要である」。

張立群：「現在、都市化における際立った問題は、都市でアルバイト生活をしている出稼ぎ農民の市民化が実現できず、彼らは都市の基本公共サービスを楽しめておらず、生活水準が低く、消費能力がかなり弱いということである。社会管理を刷新し、基本公共サービスの支出を増やし、農業からの移転人口の市民化を秩序立てて推進しなければならない。これは、経済問題であるのみならず、社会の公平・正義に関わるものである」。

(5) 重点分野の改革をしっかりと推進する⁴

(6) 社会保障の統一的企画のレベルと保障水準を引き上げる

庄健：「庶民の就業を更に十分にし、享受する社会保障の水準を更に高め、住宅を改善し、就学・医療を更に便利にし、高成長の包容力を大きく引き上げることにより、更に多くの人々が経済発展のメリットを共に享受できるようになる。例えば、社会保障分野では、現在、都市・農村をカバーする社会保障ネットワークが既に基本的に確立しているが、保障の水準が比較的 low、多くの部分で全国統一的な企画が実現できておらず、なお大きな改善の余地がある」。

張立群：「成長を安定させ、構造を調整し、改革に取り組むことは、最終的に民生の保障・改善に落ち着くことになる」。

(12月5日記)

⁴ この部分には識者のコメントがない。内容に目新しいものがなく、コメントできなかったのではないかな。